

日刊 動労千葉

79.9.16 全国版 No. 30

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八・九(公衆電話)七二〇七

ステラメな動労車新聞「号外」を弾劾する！

「反動暴力集団」本部「反動暴力集団」一流のドマ宣伝。

動力車新聞「号外」(その27・28)が約一月ぶりに「発行年月日」も明記されないまま発行され、送られてきました。この「号外」の内容は、「8・31津田沼集団暴行事件の実態」「中野一味がオルグ団を襲撃」などと仰々しい見出しと、事実を一八〇度逆転させた全くのウソとベテテをもつて紙面をうずめ、しかも、「ボロボロになった本部オルグ団のシャツ」などと全くグロテスクな「自作自演」の写真を載せています。動労千葉一四〇〇組合員は、こうした動労「本部」反動暴力集団によるデッチ上げとウソに満ち満ちた動力車新聞「号外」を絶対に許すことは出来ません。

8・31津田沼の事実経過はこうだ！ 暴力「オルグ」団は一〇〇名で職場を荒らした！

まず第一に、「号外」は、八月三十一日「本部」反動暴力集団が一〇〇名もの大量動員で押しかけ、数をたよりに職場を荒らし、ピラ・掲示物をはがしたり、当局に「もっと厳正な職場管理をやれ」と要求してまわる、という傍若無人なふるまいをしてきた事実を必死でぬりかくそうとしています。

『動力車新聞』第一二九七号には、何と「二〇数名のオルグ団」などが見えすいたウソをつき、デマ「号外」の方には絶対にその人数を書いておりません。なぜか？ それを書くこと自らの暴力的職場荒らしと「やられた」なるデマがバレしてしまうからです。

五〇名の暴力集団が五名の仲間をリンチ！ 二名をピットにつき落す奮行！

第二に『号外』は、「(ピットの下のいる)動力車組合員が(ピットの上にいる)オルグ団員の髪の毛をつかんでピットの中に引きずり落した」などと苦しませたウソを並べたてています。ピットの深さが約一メートル、「号外」の通りに凶解するとピットの中の動労千葉の組合員は、二メートル半以上の大男!! になっってしまうではありませんか。

検修詰所に押しかけた五〇名の「本部」暴力集団がピラはがしに抗議した五名の動労千葉組合員をなぐるけるつきとばすのリンチを加え、二名の仲間をピットにつき落したという断じて許せない奮行を完全に逆転させて、こんなみえすいたつくり話でごまかすことはできません。

白を黒といいくるめる革マル独得のデマ

第三に、「無抵抗で、必死に逃れようとしていた『本部』オルグ団員をグルリと取り囲み、一人一人サンドイッチにし、検問しながらリンチを加えた」などというお涙ちょうだいのステラメなつくり話に至っては、全くあきれられるばかりです。

五〇名の動労千葉の組合員が一体全体、どうして「一〇〇名の『本部』オルグ団」を「グルリと取り囲み、検問」「一人一人をテロ・リンチ」など出来るのでしょうか。

津山大会や4・11錦糸町、4・17津田沼襲撃事件のように常に数をたのんで少数の動労千葉組合員に対し、集団暴行を加えてきたのは「本部」暴力集団の側であった事など全国の仲間がよく知っている事です。

ちなみに、津田沼支部長を頭がい骨骨折の重傷に至らしめたあの凶暴な殺人未遂の4・17津田沼電車区襲撃事件でさえ、この『動力車デマ新聞』は何と宣伝しているのか。「本部」オルグ団は四月一七日にも、彼ら(動労千葉のこと)の暴力的襲撃にあい、それを排除した・・・(第一二九七号)などと「被害者」になっってしまうのだから全くあきれでものが言えません。津山大会では暴力などなかった「式の有名な大ウソと並び、これでは全国のだれも『動力車新聞』を信用しなくなるのは無理ありません。

「夢が吹き飛ばされ焦っている・・・」
のは、一体、誰か?!

「本部」反動集団は、「号外」で「全国大会で総連合構想の夢が吹き飛ばされた」「だから、千葉動労が凶暴化している」などとこじつけて、説明しようとしています。しかし、そもそも「本部」反動集団の「夢」は「千葉地本再建」「シャシヤン大会」は一体どうなったのでしょうか。いまや、熊本大会にかけた反動暴力集団の「夢」がコッパミジンにうち砕かれてしまった現実かたては誰の目にも明らかです。全国の動労組合員の皆さん！ 今こそ動労大改革をかちとり国鉄再建！！ 35万人体制攻撃！！ 粉砕にむけ共に闘おう！

